MITSUBISHI ELECTRIC

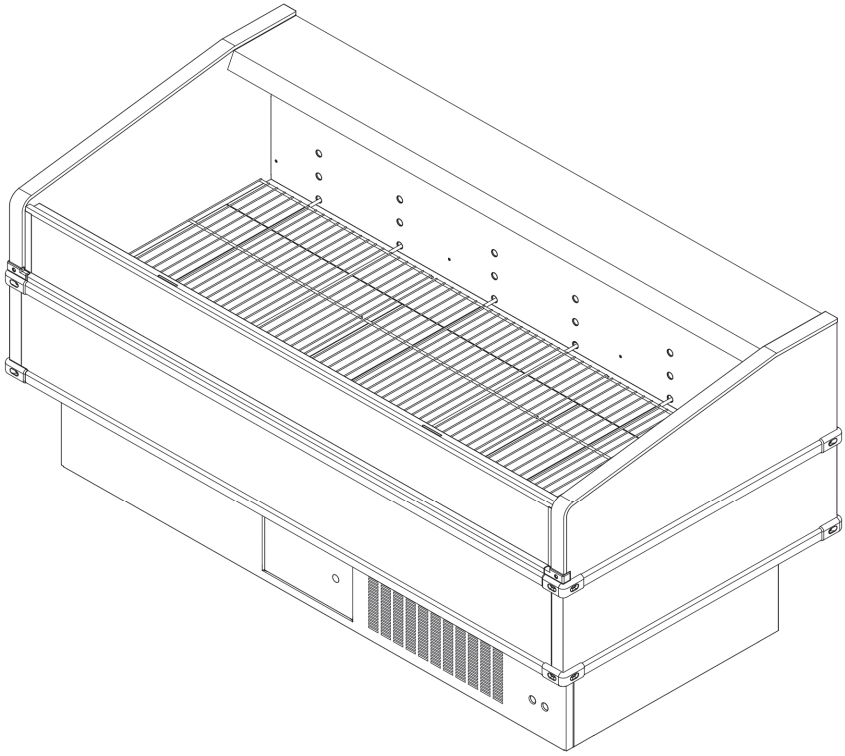
三菱ショーケース（冷凍機内蔵形）

エスケー　エムエス　エーアールエフ　ピー

SK-MS680ARF-P
SK-MS580ARF-P
SK-MS480ARF-P

（業務用）

取扱説明書



（SK-MS680ARF-P）

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は必ず読んで正しくお使いください。
- 「保証書」はお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- お使いの製品を譲渡または貸与される場合は、新しくお使いになるお客様が安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書」を製品の目立つところに添付してください。
- 別添の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。また製品を譲渡や貸与されるときは製品に添付してください。
- ご使用されるお客様自身で据え付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

お取扱販売店の方へ

ショーケースをお客様に引き渡しされる前に、必ず取扱説明書で「安全のために必ず守ること」「ご使用方法」等をお使いになる方にご説明ください。

もくじ

		ページ
ご使用の前に	安全のために必ず守ること	3
	ご使用上のお願い	5
	各部のなまえとはたらき	6
	ご使用前の準備	8
ご使用のときに	ご使用方法	11
	冷却運転を開始・停止する	･･･11
	カウンタ照明を点灯・消灯する	･･･11
	商品の入れ方	･･･12
	網棚の角度について	･･･12
	目標温度設定値を変更する	･･･13
	霜取り運転について	･･･13
	ドレン水の処理のしかたについて	･･･14
	ドレン強制蒸発装置について（オプション）	･･･14
	商品カバーを使う（オプション）	･･･15
	ナイトカバーを使う（オプション）	･･･15
こんなときに	お手入れと点検	16
	お手入れ・点検箇所と頻度	･･･16
	お手入れをする前に	･･･17
	フィルター　お手入れ：月に1回	･･･17
	電源プラグ　お手入れ：半年に1回	･･･18
	漏電遮断器　点検：月に1回以上	･･･18
	故障かな？と思ったら	19
	運転しない	･･･19
	音がうるさい	･･･19
	ドレンパンにドレン水が頻繁にたまる	･･･19
	よく冷えない	･･･20
	照明がつかない	･･･20
	フィルター清掃ランプが点灯する	･･･20
	フィルター清掃ランプが消灯しない	･･･20
	据付工事確認と試運転	21
	保管・移設・廃棄について	21
	仕様	22
	保証とアフターサービス	24

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆　誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

◆　図記号の意味は次の通りです。

してはいけない「禁止」事項		
禁止	分解禁止	接触禁止
ぬれ手禁止	水ぬれ禁止	

お守りいただく「指示」事項	
指示を守る	アース接続
電源プラグを抜く	

電源プラグ・電源コード

⚠警告	禁止	**電源コードに重いものをのせたり挟み込んだりしない** 火災・感電の原因	禁止	**電源コードを傷つけたり加工しない** 火災・感電の原因
	禁止	**電源コードを無理に曲げたりたばねたりしない** 火災・感電の原因	禁止	**電源プラグはコードを引っ張って抜かない** 発熱・火災の原因
	ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因	禁止	**電源コードは延長コードの使用やタコ足配線をしない** 発熱・火災の原因
	ほこりを取る	**電源プラグのほこりを定期的に取る** 火災の原因	差し込む	**電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む** 火災・感電の原因

据え付け時

⚠警告	水ぬれ禁止	**屋外で使用しない** 火災・感電・漏電の原因	水ぬれ禁止	**湿気の多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない** 漏電・感電の原因
	依頼する	**据え付けは取扱販売店または設置業者に依頼する** 火災・感電・水漏れの原因	使用する	**電源は専用の単相100Vコンセントを使用する** 発熱・火災の原因
	アース接続	**アースを接続する** **アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない** 感電の原因	固定する	**製品質量に十分耐える所に据え付けて固定する** ケガの原因

安全のために必ず守ること つづき

ご使用時

⚠警告	水ぬれ禁止	**製品に直接水をかけない** 漏電・感電の原因	入れない	**揮発性・引火性のあるものは庫内に入れない** 爆発・火災の原因
	置かない	**可燃性のスプレーを近くで使用したり可燃物を置かない** 爆発・火災の原因	ぬれ手禁止	**ぬれた手で電気部品のスイッチを操作しない** 感電の原因
	電源を切る	**異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切る** 火災・感電の原因	電源を切る	**漏電遮断器が作動した場合、電源プラグを抜くか、元電源を切る** 火災・感電の原因
⚠注意	置かない	**製品の上には重量物や水を入れた容器を置かない** ケガ・感電の原因	乗らない	**製品の上に乗らない** ケガの原因
	入れない	**庫内温度0℃以下でご使用のときは、ビンやカン類を入れない** ビン・カンによるケガの原因		

点検・お手入れのとき

⚠警告	分解禁止	**専門業者以外の人は絶対に分解・修理・改造をしない** 火災・感電・水漏れ・ケガの原因	使用しない	**指定以外の冷媒を使用しない** 破裂・ケガの原因
	電源を切る	**お手入れや点検のときは必ず電源プラグを抜くか漏電遮断器を切る** 感電・ケガの原因	確認する	**漏電遮断器は定期的に動作を確認する** 火災・感電の原因
⚠注意	接触禁止	**フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない** ケガの原因	照明回路を切る	**蛍光灯交換時は、電源プラグを抜くか漏電遮断器を切る** 感電の原因
	差し込む	**蛍光灯交換時は、ソケットへ確実に差し込む** 発火・発煙の原因		

保管・移設時

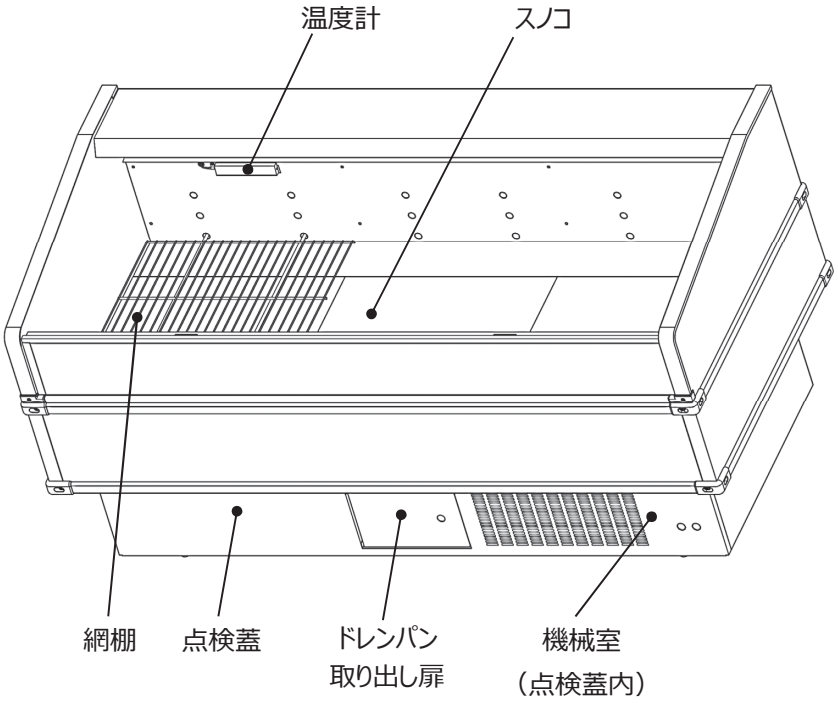
⚠警告	電源プラグを抜く	**長期間ご使用にならない場合は、安全のために電源プラグを抜く** 火災の原因	依頼する	**移設は取扱販売店または専門業者に依頼する** 火災・感電・水漏れ・ケガの原因
	傷つけない	**製品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードを傷つけないように移動する** 火災・感電の原因	力を加えない	**製品を移動するときは、ガラス部分に力を加えない** ケガの原因
	避ける	**製品を保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避ける** ケガの原因		
⚠注意	水ぬれ禁止	**長期間ご使用にならない場合は、水のかかる場所や湿気の多い所に保管しない** 漏電・感電の原因	よく乾燥させる	**長期間ご使用にならない場合は、庫内の水気をよく乾燥させる** 水漏れの原因
	排水する	**製品を移動するときは、蒸発皿の水を排水をする** 漏電・感電の原因		

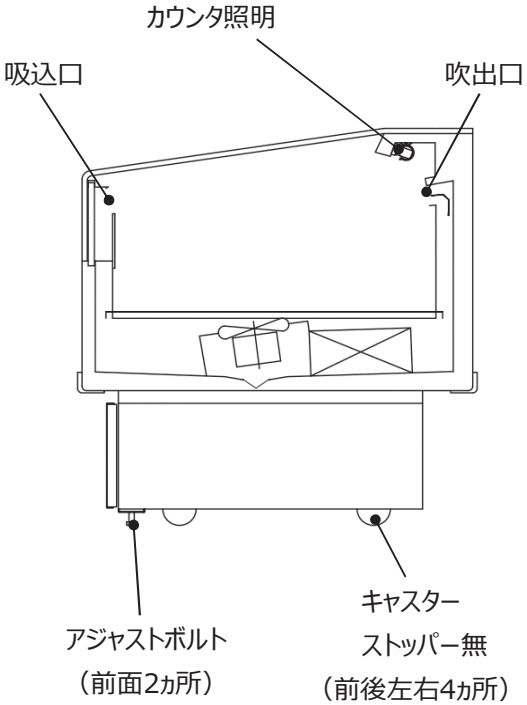
ご使用上のお願い

- 食品販売用のショーケースです。医薬品や学術試料など食品以外の保管には使用しないでください。
- 硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、メッキ工場、食品加工工場や加工をする店舗等）では、熱交換器や配管が腐食をおこすおそれがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 製品を長く、清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。

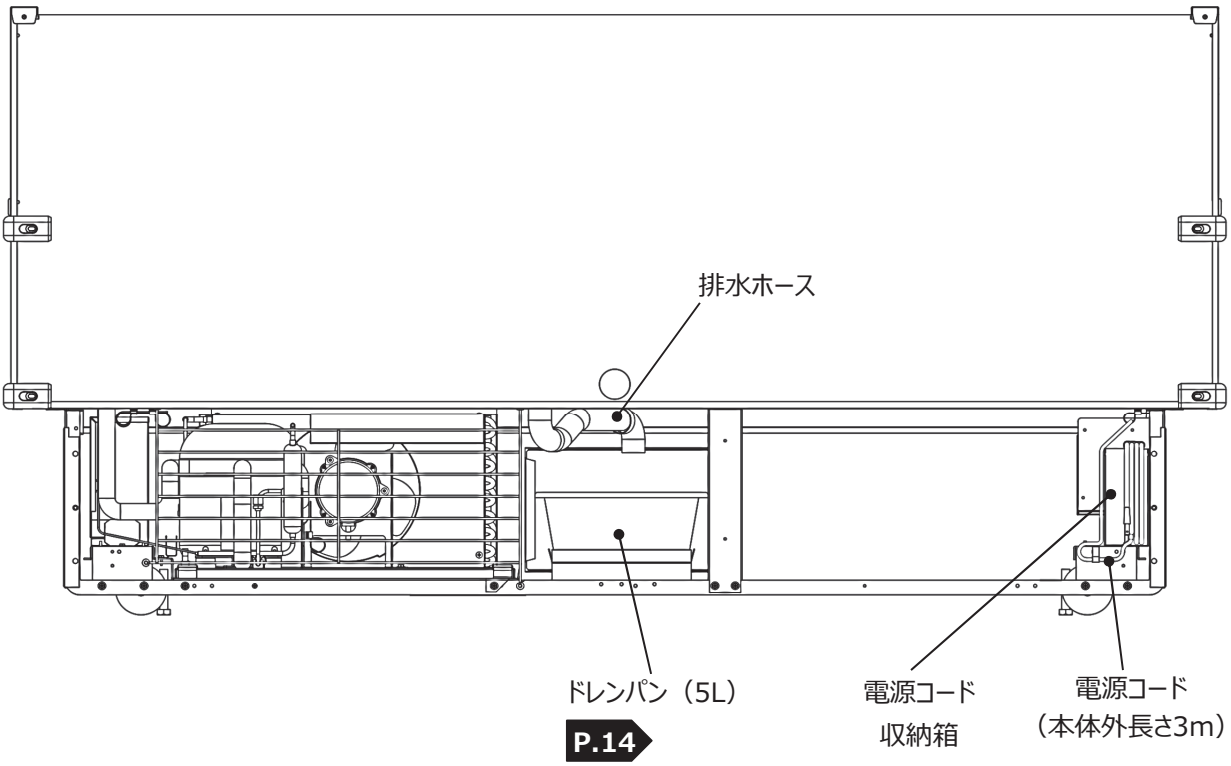
各部のなまえとはたらき

本体



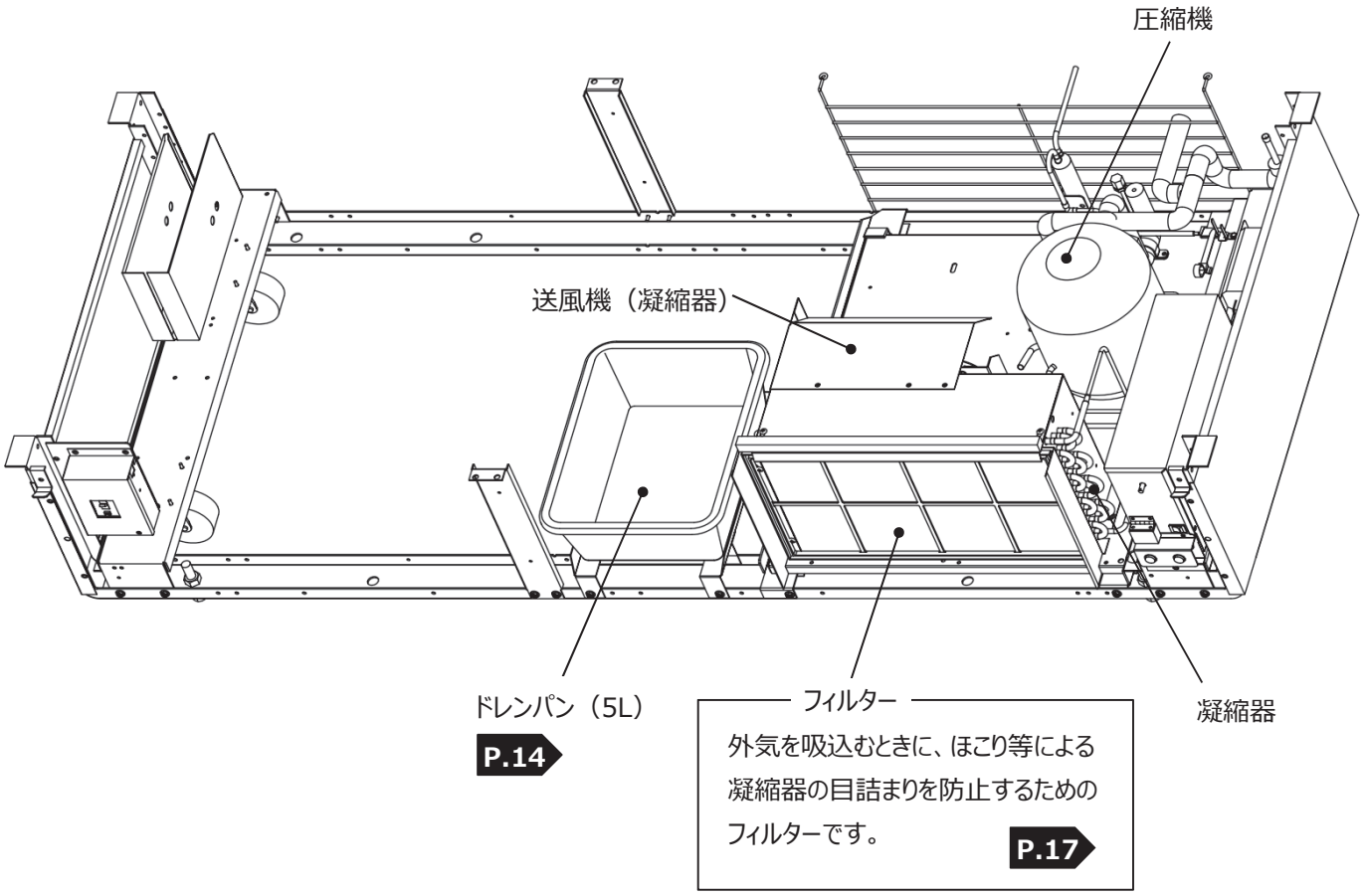


点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。
下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ちあげるとはずれます。

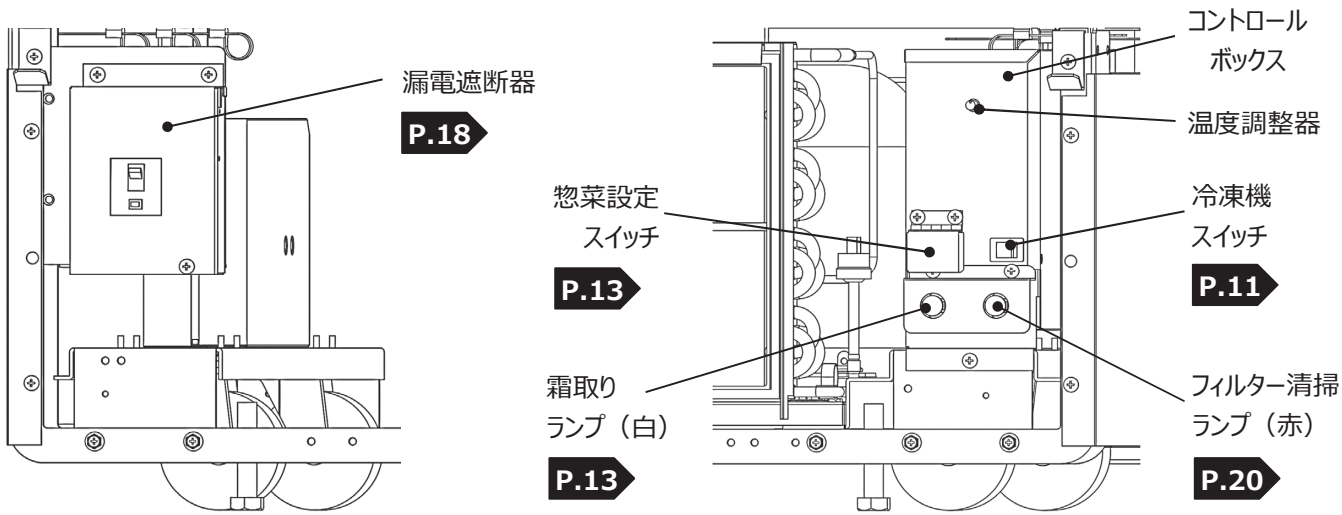


P.14

機械室


圧縮機
送風機（凝縮器）
ドレンパン（5L）
P.14
フィルター
外気を吸込むときに、ほこり等による凝縮器の目詰まりを防止するためのフィルターです。
P.17
凝縮器

電装品


漏電遮断器
P.18
惣菜設定スイッチ
P.13
霜取りランプ（白）
P.13
コントロールボックス
温度調整器
冷凍機スイッチ
P.11
フィルター清掃ランプ（赤）
P.20

ご使用前の準備

据え付け場所の選定

性能を十分発揮できるよう次のような場所に設置してください。
ご使用されるお客様自身で据え付けないでください。　（安全や機能の確保ができません）

周囲環境

温度	15～27℃
湿度	60%以下

●この表の範囲を外れると性能の低下の原因になります。
●周囲温度が35℃以上（夜間、空調運転停止時など）になると、保護装置により正常な冷却運転が保てなくなります。

⚠警告	**据え付けは取扱販売店または設置業者に依頼する** 火災・感電・水漏れの原因
	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因
	湿気の多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因

風のあたらないところ

周囲風速	0.2m/sec以下

●店舗の出入口付近や空調ダクト・換気扇など風の影響を受ける場所に据え付けないでください。

ショーケース庫内に外気が入り込みやすくなり、冷却性能や蒸発性能低下の原因になります。

熱気から離れたところ

●近くに熱源があるところや、直射日光のあたるところに据え付けないでください。

ショーケースの周囲温度が上昇し、暖かい外気が庫内に入り込み冷却性能低下の原因になります。

吸気・排気スペースを確保する

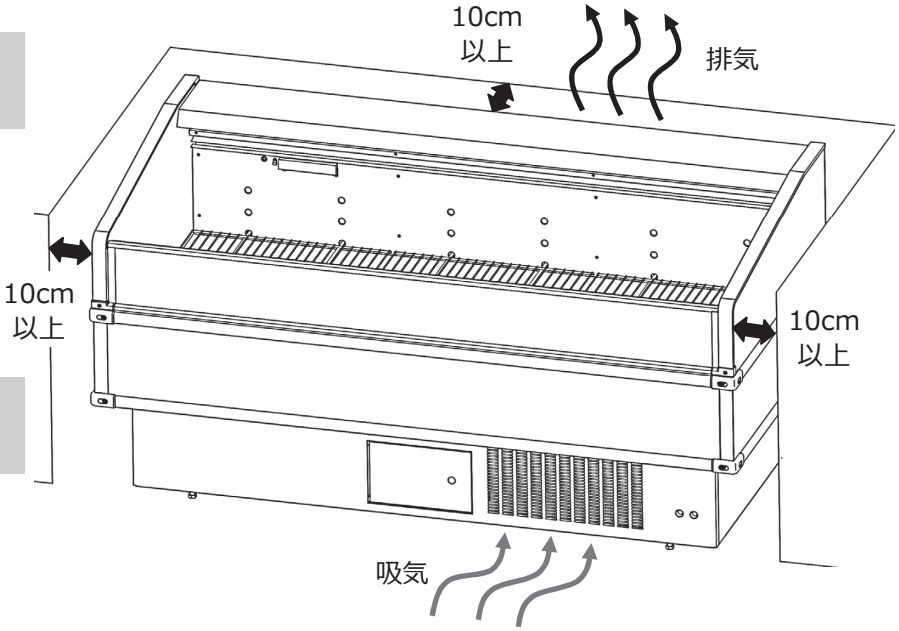
●ショーケースの左右に10cm以上のすきまを確保してください。
●前面の吸気口や背面上部の排気口をダンボールや商品などでふさがないでください。

吸気・排気スペースを確保していないと、冷却性能や蒸発性能低下の原因になります。

丈夫で水平なところ

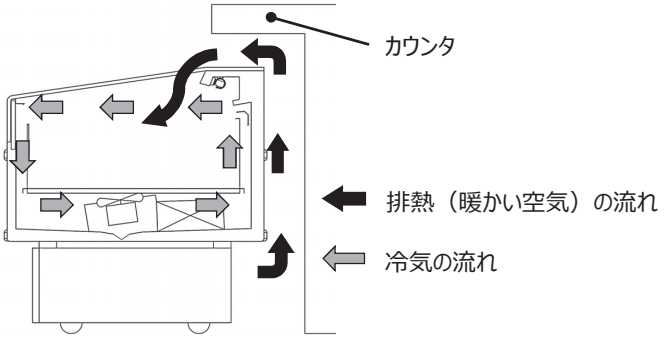
●丈夫で水平なところに据え付けてください。

音や振動の原因になります。



ご注意

● ショーケースをカウンタ等の下に据え付けた場合、排熱が上部に逃げず庫内に入りやすくなり、冷却性能が保てなくなることがあります。排熱を上部に逃がせる位置に調整いただくか、排熱が庫内に入らないよう処置をしてください。



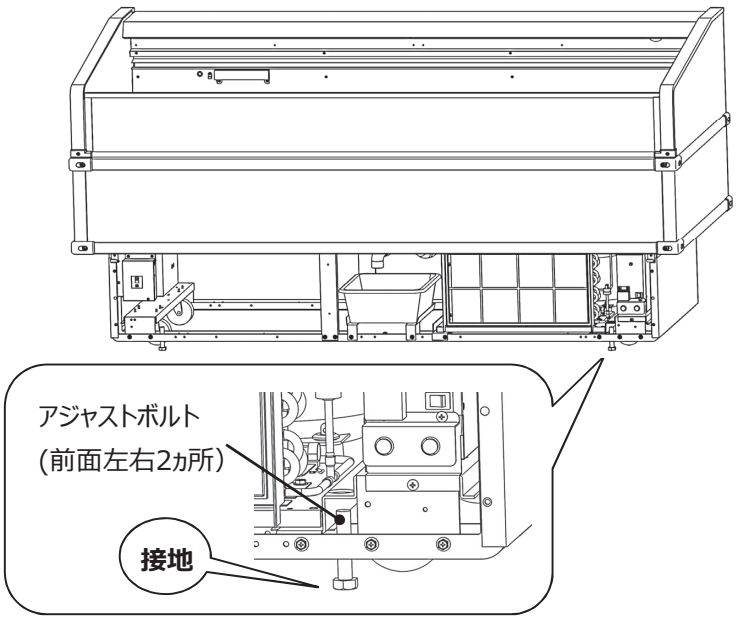
設置

傾き

ショーケースの左右前後の傾きを水平になるようにアジャストボルトで調整をしてください。

固定

ショーケースが移動しないようにアジャストボルト（前面左右2ヵ所）で固定してください。



電源

電源

電源	電源プラグ
単相100V	2極（125V 15A）

⚠警告	**電源は専用の単相100V コンセントを使用する** 発熱・火災の原因

アース

万が一の感電を防止するために、アースを接続してください。

- アース接続用ねじはショーケース本体背面の左下部にあります。
- アース端子がない場合は、必ずD種接地（アース）工事を実施してください。

⚠警告	**アースを接続する** **アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線には接続しない** 感電の原因

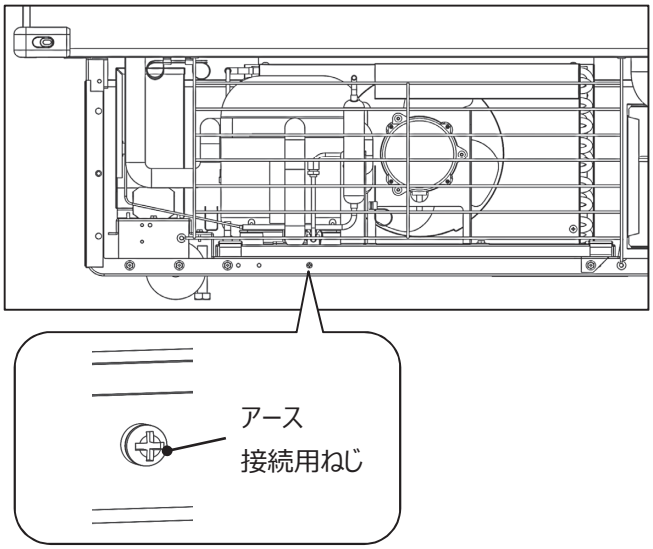
お取扱販売店の方へ

アース線（銅線直径1.6mm以上）をご準備ください。

このショーケースの据え付けは、お買い上げの販売店が下記に基づき実施しています。
据付工事完了後、21ページの事項をお客さま自身でご確認ください。

工事名	関連法規・内容	資格
アース接地工事	「電機設備に関する基準」および「内線規程」	第二種電気工事士

<機体を背面から見た図>



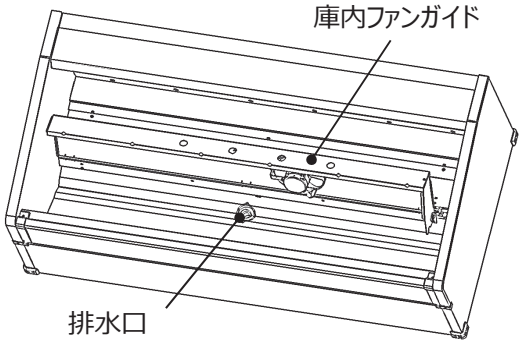
ご使用前の準備 つづき

ドレントラップに水を入れる

排水口からの冷気漏れによる冷却性能低下を防止するため、はじめて運転するときや長時間運転を停止したときは、運転開始前に排水口へコップ3杯程度の水を入れてください。

● 水を入れるときは電源プラグを抜いた状態で行なってください。

⚠ 警告	**お手入れや点検のときは必ず電源プラグを抜くか漏電遮断器を切る** 感電・ケガの原因



ご使用方法

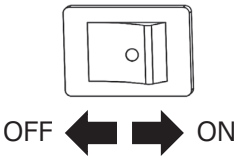
食品販売用のショーケースです。医薬品や学術試料など食品以外の保管には使用しないでください。

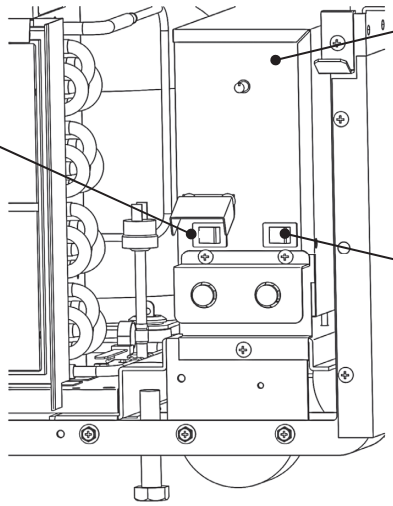
冷却運転を開始・停止する

運転を開始する前に、ショーケース専用の単相100Vコンセントを使用していることを確認してください。
以下の手順で冷却運転を開始・停止できます。

コントロールボックスの冷凍機スイッチを「ON」にすると運転を開始します。

- 漏電遮断器が「ON」になっていることを確認してください。
- 圧縮機は停止保持時間3分経過後に動き始めます。
- 惣菜温度帯で使用する場合は、惣菜スイッチを「ON」にしてください。

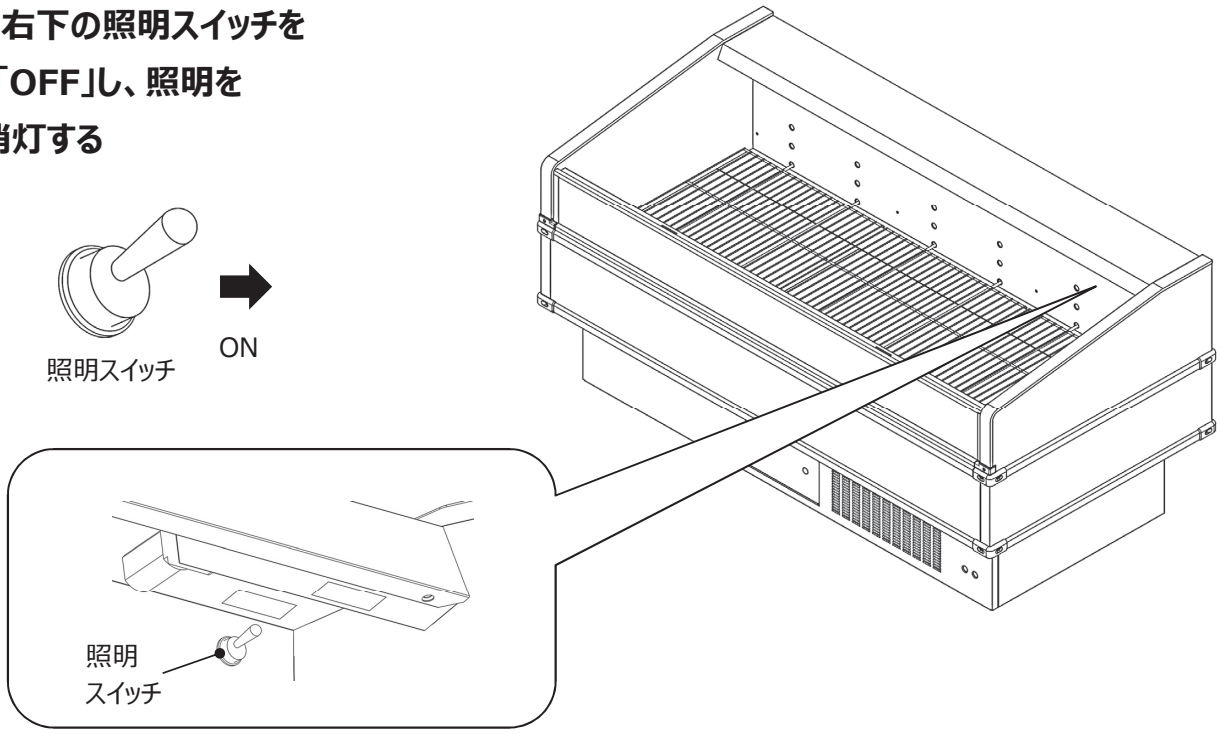




冷却運転を停止するときは、冷凍機スイッチを「OFF」にしてください。

カウンタ照明を点灯・消灯する

カウンタ右下の照明スイッチを「ON」「OFF」し、照明を点灯・消灯する



ご使用方法 つづき

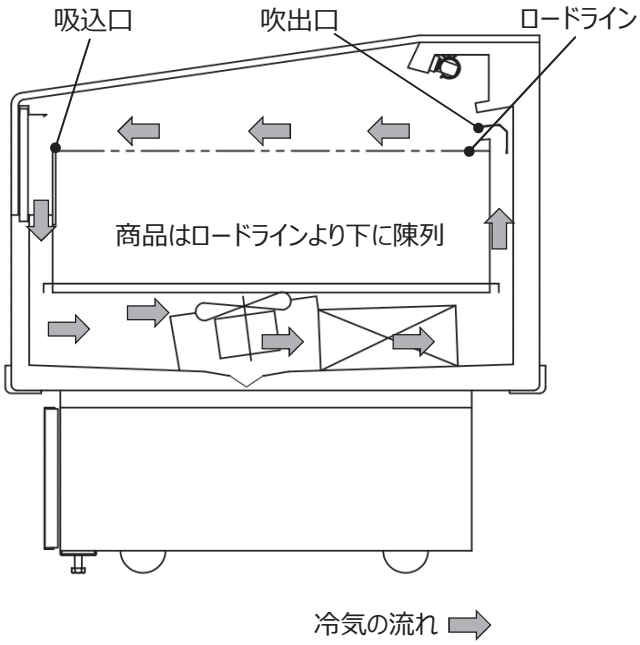
商品の入れ方

1 **一時間程運転し、庫内が冷えていることを確認する**

2 **商品を庫内に入れる**

- 商品で吹出口と吸込口を塞いだり、ロードラインより上に陳列すると、冷気の流れが乱れ、商品が冷えにくくなります。

- ご使用時にロードラインより上に陳列すると吹出口付近の商品が凍結する原因になります。

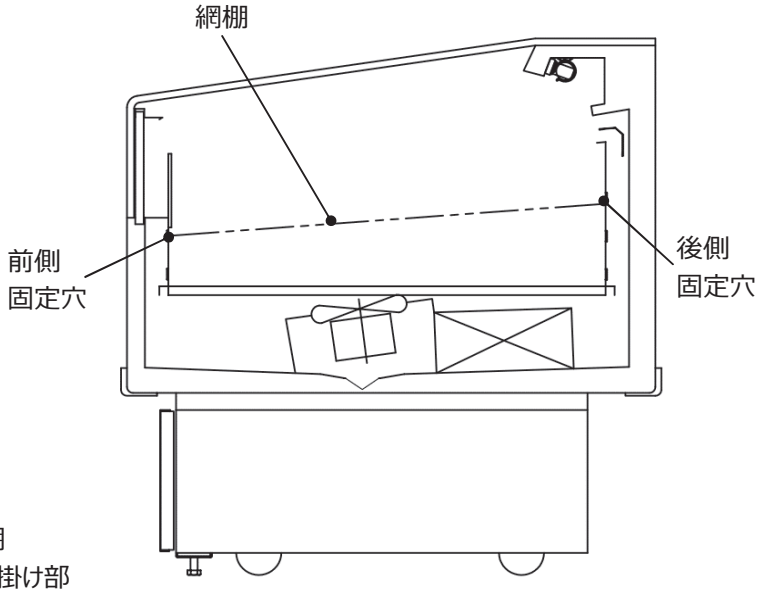


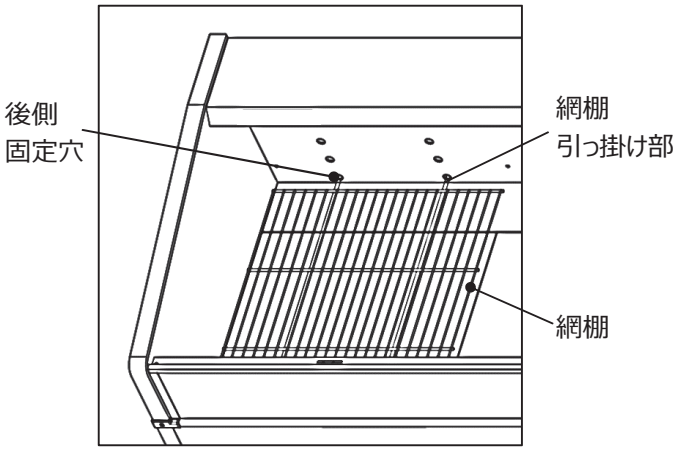
網棚の角度について

網棚は固定穴の差し込み位置を変更することで、角度を変えることができます。

- 網棚は前後の固定穴に網棚の引っ掛け部を差し込んでいますので、外すときは網棚を前後にスライドし、片側ずつ引っ掛け部を固定穴から抜いてください。

- 前2段・後3段の変更が可能です。





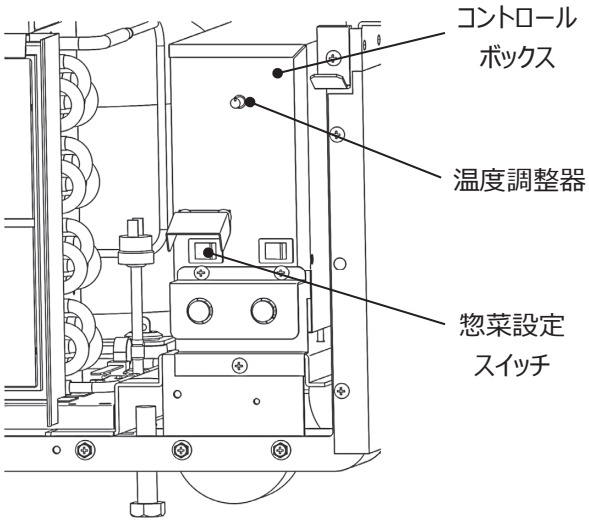
<庫内を上面から見た図>

目標温度設定値を変更する

ショーケースの目標温度設定値を変更し、庫内温度を調整することができます。
工場出荷時は **精肉・鮮魚　0℃　　惣菜　15℃** に設定しています。

- 目標温度の変更は、温度調節器を変更したい値の目盛位置にセットすることで行えます。
  （例：温度調節器の目盛を+2の位置にセット
  →目標温度が約2℃高くなる）
- 惣菜温度帯で使用する際は、コントロールボックス前面にある惣菜設定スイッチを「ON」にしてください。

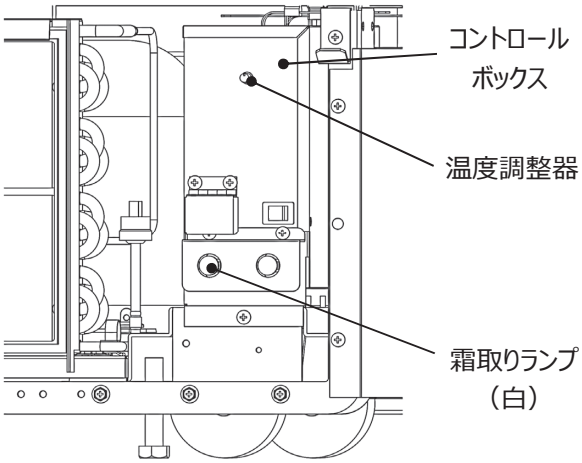
- 設定値を必要以上に下げる、または上げることはしないでください。故障の原因となることがあります。



霜取り運転について

霜取り運転はコントローラーにより、8時間に1回自動的に行います。
霜取り中は、霜取りランプ（白）が点灯します。

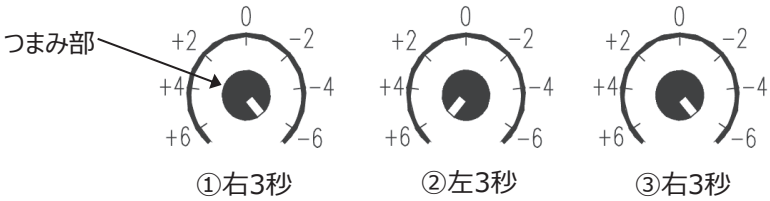
- 霜取り運転の際、一時的に庫内温度が上昇しますが異常ではなく、商品の温度への影響はほとんどありません。
- 霜取り終了直後は、庫内の温度が高めになっています。



強制霜取りのしかた

温度調節器のつまみ部を操作することにより手動で霜取りをすることができます。

①右にいっぱいまわして3秒待つ
②左にいっぱいまわして3秒待つ
③右にいっぱいまわして3秒待つ
④霜取り開始



- 霜取り開始後、温度調整器は元の設定値に戻してください。

ご使用方法 つづき

ドレン水の処理のしかたについて

庫内の排水は、排水ホースを通してドレンパンの中に排水されます。
水漏れの原因になるため１日１回以上、排水処理をおこなってください。

1 **ドレンパン取り出し扉を開ける**

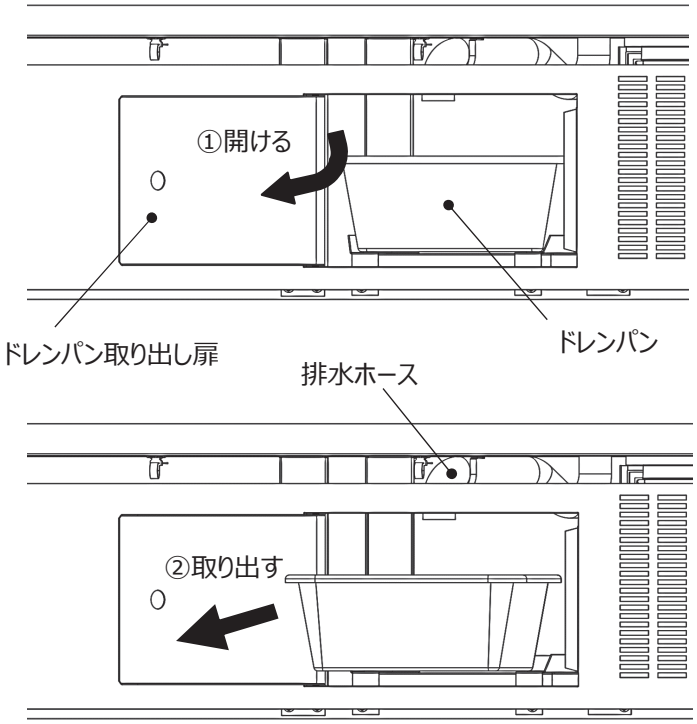
2 **ドレンパンを取り出し、排水する**

- ドレンパンにドレン水がたくさん入っている場合があります。
  布など水を吸い取り、引き出してください。

- ドレンパンを取り出している間、ドレン水をうけるため、布などを排水ホース下においてください。

- 霜取り運転中はドレンホースからの排水が多めになるため、排水の処理に注意してください。
  霜取り運転中は霜取りランプ（白）が点灯します。

P.7



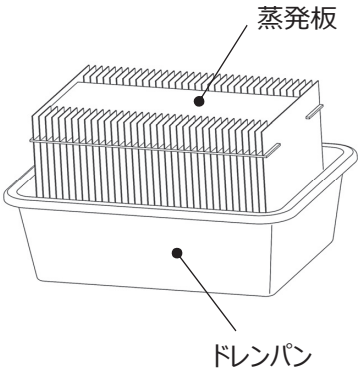
3 **ドレンパンを元の位置に戻し、取出し扉を閉める**

ドレン強制蒸発装置について（オプション）

ドレン水を凝縮器排熱により蒸発させますので、日々の排水処理の手間を減らすことができます。

蒸発板の交換について

- 蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。
  (粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など)
- 蒸発板はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

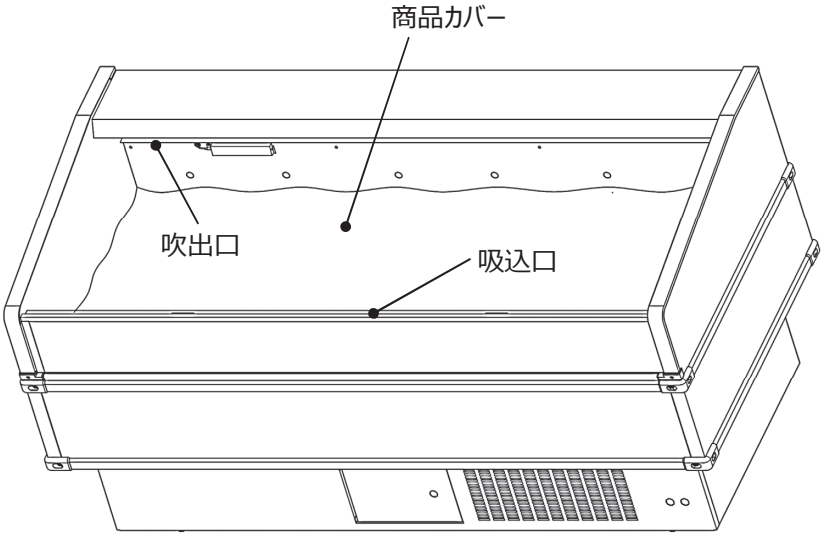


商品カバーを使う（オプション）

閉店・休店の際に、ご使用いただくと商品の温度変化を抑えることができます。

●商品カバーは商品の上に直接かぶせてご使用ください。

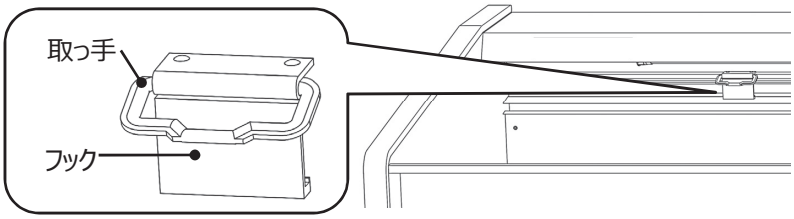
●吹出口、吸込口をふさがないようにご使用ください。
冷却性能の低下の原因になります。



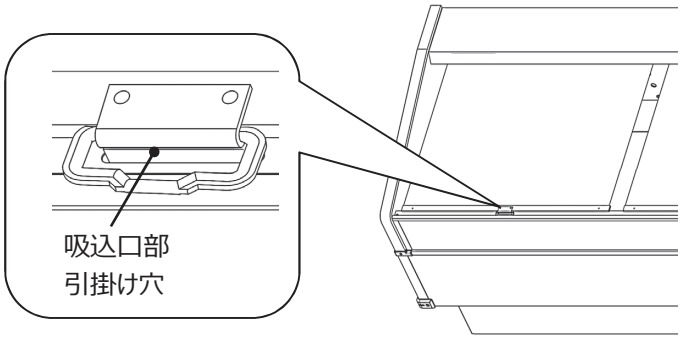
ナイトカバーを使う（オプション）

閉店・休店の際に、ご使用いただくと消費電力量を抑えることができます。

1 **ナイトカバーの取っ手を持って引き出す**



2 **吸込口部の穴にフックを引っ掛ける**



ナイトカバーを収納するとき

- 周囲環境によってはナイトカバーの表面に結露する場合があります。収納するときに、拭き取ってください。
- 収納するときは、途中で手を離さず、必ず最後まで取っ手を持って収納してください。 途中で離すと、取っ手破損の原因になります。

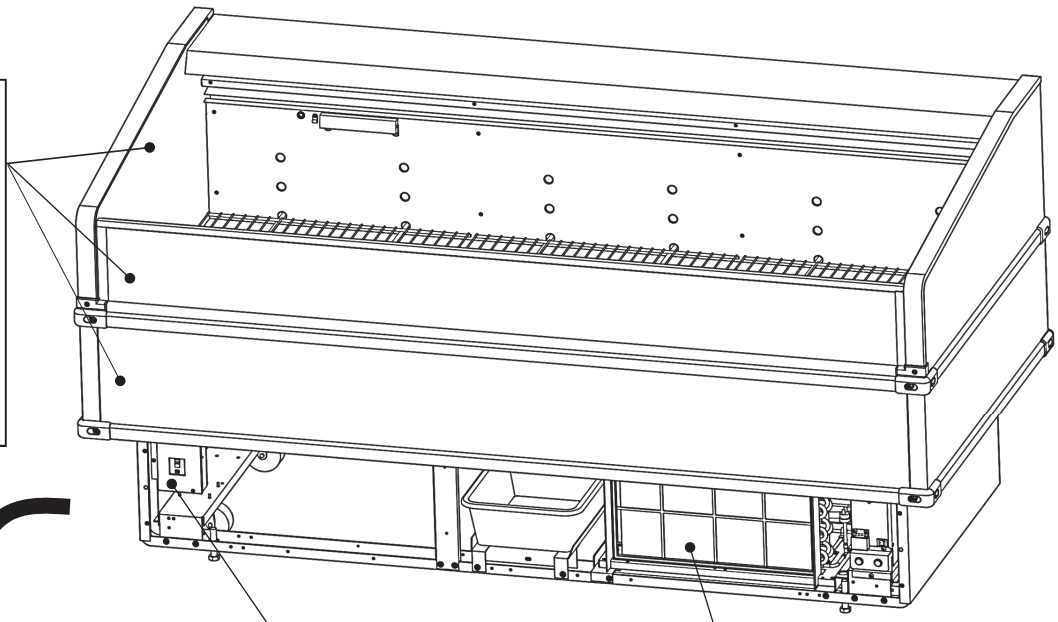
お手入れと点検

製品を長く、清潔にご使用いただくために定期的にお手入れ・点検をしてください。

お手入れ・点検箇所と頻度

外装・庫内・ガラス

お手入れ：日常
- 乾いた布でから拭きをしてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、うすめた台所用洗剤（中性洗剤）を含ませた布で拭いたあと、水を含ませた布で拭き取ってください。



漏電遮断器

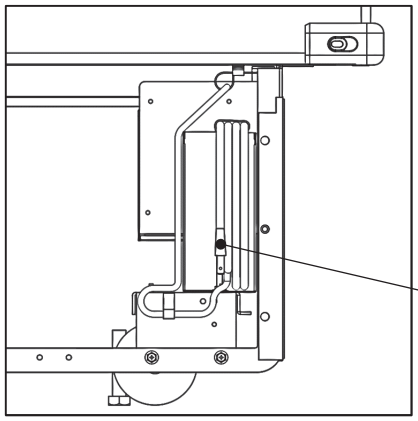
点検：月に1回以上

P.18

フィルター

お手入れ：月に1回

P.17



<機械室を背面から見た図>

電源プラグ

お手入れ：半年に1回

P.18

お願い

●以下のものは使用しないでください。

（傷つき・腐食・変色・変形の原因になります）

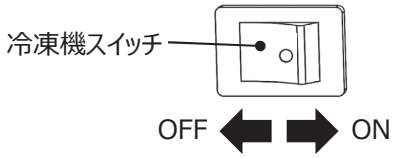
◆台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
◆ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
◆スチールタワシ・タワシ
◆熱湯・酸

⚠ 警告	**製品に直接水をかけない** 漏電・感電の原因

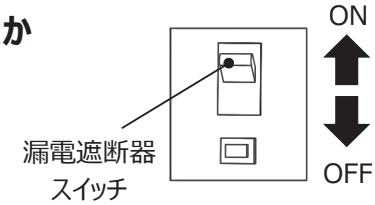
お手入れをする前に

お手入れのときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、安全のために電源プラグを抜くか漏電遮断器を切ってください。

1 **コントロールボックスの冷凍機スイッチを「OFF」にする**



2 **電源プラグを抜くか漏電遮断器を「OFF」にする**



⚠警告	**お手入れや点検のときは必ず電源プラグを抜く** 感電・ケガの原因

お手入れが終わりましたら、逆の手順で冷却運転を開始してください。
再び電源プラグを差すときはほこりをよく取り除き、根元まで確実に差し込んでください。

お手入れのしかた

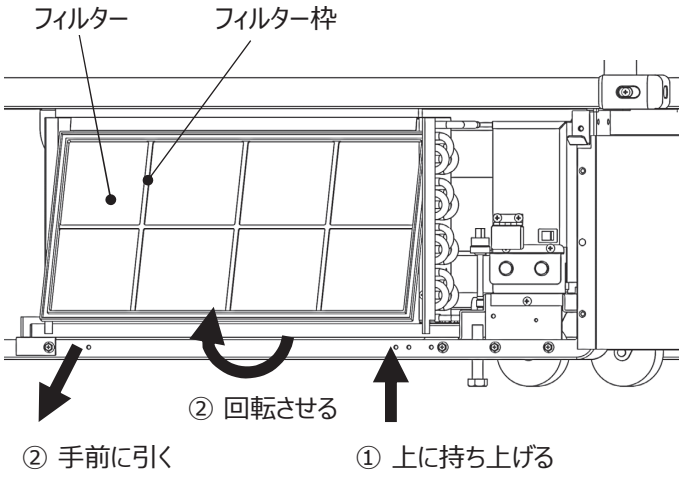
フィルター　お手入れ：月に１回

ほこりがたまった状態で運転を続けると、圧縮機故障の原因になります。

1 P.17 **の手順で電源を切る**

●お手入れのときは電源を切ってください。

2 **フィルターを上に持ち上げ、回転させながら手前に引いて外す**



3 **ほこりをよく取り除く**

●掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。

⚠注意	**フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない** ケガの原因

フィルターの取り付けについて

● フィルターの向きはフィルター枠が出ている方がおもてです。

点検が終わりましたら、フィルターを正しい向きに入れ直し、運転を再開してください。

お手入れと点検 つづき

電源プラグ　お手入れ：半年に1回

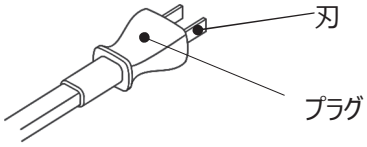
ほこりがたまった状態で使用すると、絶縁不良による火災の原因になります。

1 P.17 **の手順で電源を切る**

●お手入れのときは電源を切ってください。

2 **電源プラグや刃のほこりをよく取り除く**

●水ぶきや水洗いはしないでください。



3 **電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む**

⚠注意	**電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む** 火災・感電の原因

点検のしかた

漏電遮断器　点検：月に1回以上

故障した状況でご使用しますと、感電の原因になります。

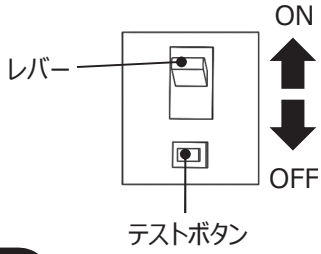
1 **冷却運転を停止する** P.17

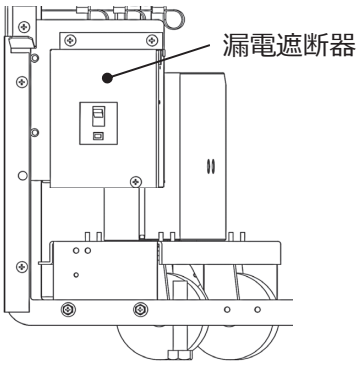
●点検は電源が入っている状態で行ってください。

⚠警告	**漏電遮断器は定期的に動作を確認する** 火災・感電の原因

2 **漏電遮断器のテストボタンを押す**

●正しく作動すると、レバーが「OFF」になります。





点検時に正しく漏電遮断器が作動しないとき

運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買上げの販売店にご連絡ください。

3 **作動確認後、レバーの位置を「OFF」から「ON」にする**

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に以下の項目をお調べください。お調べになっても不具合がある場合は運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上でお買い上げの販売店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
運転しない	停電ではありませんか。	停電解消までお待ちください。 停電解消ののち、運転を再開します。
	お店の電源ヒューズや漏電遮断器がきれていませんか。	お店の電源ヒューズや漏電遮断器をご確認ください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグや刃のほこりをよく取り除き根元まで確実に差し込んでください。
	冷凍機スイッチが「OFF」になっていませんか	冷凍機スイッチを「ON」にしてください。 P.11
	温度調整運転中ではありませんか。	庫内温度が規定値に達すると運転を再開します。 しばらく経ってから圧縮機と送風機（凝縮器）が運転しているが確認してください。
	運転停止後3分以内で運転を再開していませんか。	運転後停止後、3分以内に再開した場合は、圧縮機は3分経過後に運転を開始します。
音がうるさい	床がしっかりしたところに据え付けていますか。	水平で床が丈夫な場所に据え付けてください。 P.9
	ショーケースが壁や物などにあたっていませんか。	ショーケースが壁や物などにあたらないように据え付け位置を調整してください。
ドレンパンにドレン水が頻繁にたまる	ショーケースに風があたっていませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなり、ドレン水が増える原因になります。 据え付け場所を調整してください。 P.8

故障かな?と思ったら つづき

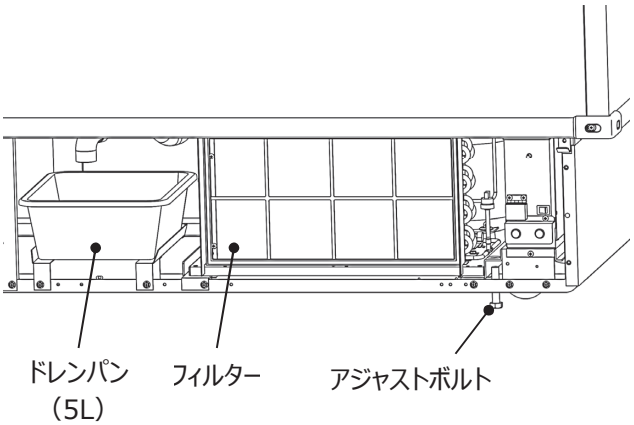
現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない	吸気口・排気口をふさいでいませんか。	機械室の吸気・排気のために10cm以上すきまをあけてください。 P.8
	直射日光があたったり、近くに熱源はありませんか。	周囲の温度が上昇し、冷却性能が悪くなる原因になりますので据え付け場所を調整してください。 P.8
	店舗出入口付近や空調ダクト・換気扇のそばに据え付けていませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなりますので、風があたらないように据え付け場所を調整してください。 P.8
	冷凍機スイッチが「OFF」になっていませんか。	冷凍機スイッチを「OFF」にしてください。 P.11
	冷気の吹出口・吸込口を商品などで塞いでいませんか。	冷気の吹出口・吸込口から商品などを取り除いてください。
	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れしてください。 P.17
照明がつかない	蛍光灯がソケットにしっかりはまっていますか。	ソケットにしっかり差し込んでください。
	蛍光灯が切れていませんか。	蛍光灯を交換してください。
	グロースターターが外れていませんか。	グロースターターをソケットに差し込み直してください。
	グロースターターが切れていませんか。	グロースターターを交換してください。
フィルター清掃ランプが点灯する	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れをしてください。 P.17
フィルター清掃ランプが消灯しない	フィルターをお手入れしたときに、冷凍機スイッチを「OFF」にしましたか。	冷凍機スイッチを一度「OFF」にし、3分経過後再び冷凍機スイッチを「ON」にして運転を再開してください。 P.11

据付工事確認と試運転

試運転を行うときは、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付実施者から説明を受けてください。

据付工事完了時の確認事項

- アジャストボルトで固定されていますか。 □ P.9
- ショーケースの吸気・排気スペースは確保されていますか。 □ P.8
- アース線が接続されていますか。 □ P.9
- ショーケース専用のコンセントを使用していますか。 □ P.9
- フィルターが取り付けられていますか。 □
- ドレンパン（５Ｌ）の位置のずれていませんか。 □



保管・移設・廃棄について

長期間ご使用にならないとき

- 庫内の商品を全て取り出し、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 水のかかる場所や、湿気の多いところには保管しないでください。
- 製品を保管するときは幼児が遊ぶ場所をさけてください。
- ドレン口・ドレン溝とその周りをきれいに清掃し、水気を十分拭きとったあと、よく乾燥させてください。

移設をするとき

- 移設は販売店または専門業者にご依頼ください。
- 取扱説明書と「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別添）を製品の目立つところに添付してください。

廃棄をするとき

- このショーケースはフロン排出抑制法第1種特定製品です。廃棄をするときは専門業者にご依頼ください。
- この製品には冷媒としてHFC（フロン）が使用されています。

1）フロン類をみだりに大気放出することは法律で禁じられています。
2）この製品を廃棄・整備する場合にはフロン類の回収が必要です。回収は都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にご依頼ください。
3）フロン類の種類及び質量は、庫内機種名板に記載されています。

仕様

項目 ＼ 形名				SK-MS480ARF-P	SK-MS580ARF-P	SK-MS680ARF-P
用途				精肉・鮮魚～惣菜用		
庫内温度			℃	-2℃ ～ 18 ℃		
電源			-	単相100V		
本体	外形寸法	高さ	㎜	900		
		幅	㎜	1200	1500	1800
		奥行	㎜	900		
	有効内容積		L	198	252	306
	陳列面積		m^2	0.80	1.02	1.24
	外装		-	表面処理鋼板焼付塗装		
	内装		-	表面処理鋼板焼付塗装		
	断熱材		-	ウレタン注入発泡		
	脚部		-	ゴム車輪径φ75自在キャスター4個		
	照明灯		-	32W×1	40W×1	
圧縮機	形式		-	全密閉形（レシプロ式）		
	呼称出力		W	300		
冷媒	種類		-	R134a		
	冷媒封入量		g	265	335	360
	制御方式		-	キャピラリーチューブ		
冷却器形式			-	クロスフィン（強制通風式）		
凝縮器形式			-	クロスフィン（強制通風式）		
温度制御			-	マイコン制御		
除霜方式			-	ヒータ方式		
付属品			-	ドレンパン(5L)、温度計、漏電遮断器、電源コード収納箱、網棚、アジャストボルト（2本）		
オプション			-	ドレン強制蒸発装置、ドレンタンク(7L）、商品カバー、ナイトカバー		
製品質量			kg	100	110	125

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

MEMO

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

●「保証書」は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
●「保証書」は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から１年間です。
（冷凍サイクル用部品は２年間です。）

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、このショーケースの補修用性能部品を製造打切後12年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店か「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」（別添）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（P.19～20）にしたがってお調べください。

●なお、不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料になることがあります。

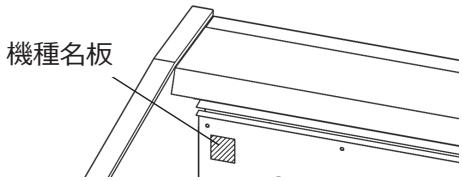
●修理料金は

技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

◆技術料・・・製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
◆部品代・・・修理に使用した部品代金です。
◆出張料・・・お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡頂きたい内容

1. 品名　三菱ショーケース
2. 形名（庫内機種名板に記載
   例）SK-MS680ARF-P）
3. 製造番号（庫内機種名板に記載の8桁の番号）



4. 故障の状況（できるだけ具体的に）
5. 設置年月日
6. 設置場所のご住所
7. お名前・電話番号・訪問希望日

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

便　利　メ　モ	お買い上販売店名
	電話番号

三菱電機株式会社
三菱電機冷熱応用システム株式会社
〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号（三菱電機（株）冷熱システム製作所内）

ES79D304H02